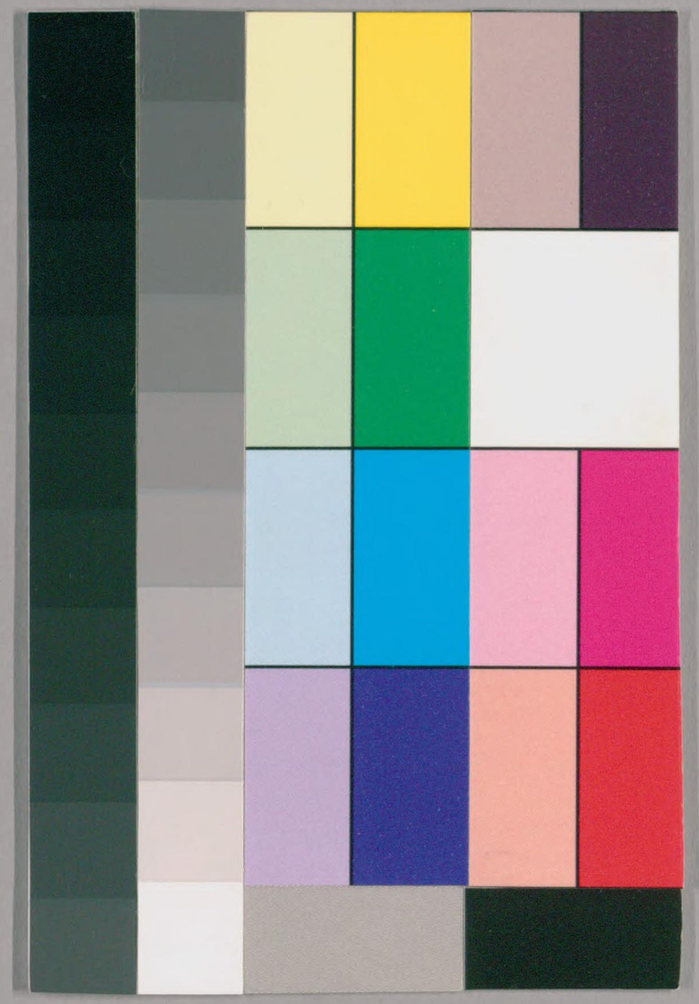
特 1
2647



国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647

ガラス使用

詞迺大綱巻之四目録

冬之部

冬 一　初冬 二　時雨 三　落葉 五
残菊 八　霜 九　枯野 十一　冬野 同
冬枯 十二　冬風 同　寒樹 十四　寒菊 同
寒艸 十五　冬草 同　寒蘆 十七　氷 同
冬月 十九　寒月 同　衾 廿一　雑炊 廿二
薪 廿四　千鳥 廿五　水鳥 廿七　鷲 同
鴨 同　鳰 同　残鷹 廿九　寒雁 同
網代 卅　霰 卅二　霙 卅三　雪 卅四

初雪 廿六　深雪 同　鷹狩 廿七　狩場 同
炭竈 四十　埋火 四十一　炉火 同　神楽 四十二
豊明節会 四十三　仏名 同　早梅 同　冬籠 同
歳暮 四十四　送年 同　惜年 同　待春 四十五
閏十二月 同　除夜 五十

詞通大綱巻之四

冬之部

○冬　神無月　しはすと
[illegible] 四　冬の日　朝
[illegible] 上四　寒し 上四　年暮
[illegible] 下　[illegible] 上四　[illegible] 下
州　[illegible] 四　宮の苑

帝国図書館蔵

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647　ガラス使用

讀例

三月下旬より廣く[illegible]べし

發語

あらし哉　木枯[illegible]ゆる　何[illegible]原　木の葉ちる

[illegible]　今年[illegible]や

○初冬

十月朔日より霜月五日迄[illegible]

冬[illegible]上　[illegible]上　[illegible]

[illegible]四　[illegible]下　[illegible]四　冬の[illegible]　[illegible]四

[illegible]上　[illegible]　[illegible]　冬[illegible]四

冬[illegible]上　[illegible]下　[illegible]　秋[illegible]

[illegible]下　[illegible]の[illegible]　[illegible]四

[illegible]　行へ　[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]四　[illegible]上　[illegible]上　[illegible]

[illegible]下　嵐の[illegible]　[illegible]四　[illegible]上

[illegible]　[illegible]四　[illegible]四下　椎[illegible]の[illegible]

下草[illegible]下　入月　木の葉[illegible]四　[illegible]

[illegible]の[illegible]　[illegible]四　霜[illegible]四

[illegible]下　[illegible]の[illegible]　初　[illegible]四

[illegible]下　[illegible]　[illegible]　[illegible]火

初冬　三

特 1 2647

神無月　ふくる

積る

月　雲　木枯　晦日

ゆふ日　明日　暮　朝

夕　夜　山　峯

空　閨　森　杜

田　海　川　路

山家　田　床　庭　墻

隣　菊　苫　篠

麻　岩籠

寂絶　風すさむ　おかたの　嫁くれて

○時雨

老の袂　初しくれ　笠舟　旅

さそふむら山　行樺　ゆかる　色ぬ池

音信のくるゝ　袖　何事もなる　上　行は山　下

うちしけり　下　何事の旅　つゝむ旅寝　松の

老のくるゝ　下　時ふかく　故にて　老の楢

衷　楢の葉　下　むら杉　中　深山　四

行　四　をりくく　さそふ　四　さそふゆく　下

出くる 四　声　井をつたふ 下　軒す
降る 四　月を残す　惜しし 四　廻る 四
嫌し　物さびし　音をしかり　家
曇る 四　晴るゝ　袖　はらく 四
打しくれ　すさまし 四　古り　濡れく 四
夜とかる　木の葉 四　人　紅葉をまつり 四
しぐれ　くもる 四　かへるさ 四　衣ほす
音の原 四　板屋　そゝぐ 四　濡るゝ 下
宿らつ 四　関 四　雁子 四　打る 下
ぬらす 四　袖 きく　乾す 四　晴る 下

時ふりし 上　声　ふりし 上　間　かゝる 四
定めなし 上　空　はるゝ 上　急
間もなし 上　木の　音なし　顔
里をわかぬ　晴 下　月影　月影をわかる 下
夕日影　冬きそふ 四　雲　立かはる
村ふる　鏡くふる　くるゝまよふ　袖ぬれ雨
ひとしきり　露ぞ思ふ　うつし　雲立まよふ 四
初冬 四　袖も濡れぬ 四　時雨月　木の葉降しく 四
寒　下草　木の葉 上　定めなく 四
片　むらむら 下　冬くる 下　神無月

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

あれこそ　こそ

讀合

日　夕入　月　五月　星　空

風　嵐　山風　木枯

雨　雪　明日　曉

朝　夕　宵　夜

山　谷外　峯　葉　岡

野　海　川　浦

杜　都　里　古　笹屋

山家　田　閨　松間　屋

枝の板　古　垣　掛樋　野道

わら　窓　庭　舟　紅葉

藤袴　正木　板原　杉橋　杉蔭

樺　蘿　笠

衣　猿　菅　枕

涙　寝覚　袖　老

發句

寒きにならむ　廻りゆく　時雨とや

落葉

おちば　一枝　朽ち　さそ

木の葉の雨　後庭　垣　紛なるを
嵐に舞ふ 四　めくる日 四　拂ふ 四　降りしく 四
ちりうし 上　紅葉の錦　手向　枯木の葉 下
袖にちるる 下　夜　風のたより　山深き
家　かへる 下　かなしく 四
讀經
日　入夕　月前　空　風　山
嵐　山嵐　木枯　雨
宿　時雨　神無月　なかれ白
明日　くらふ　散り　曉

朝　晝　夕　宵
夜　山鄰　夕日　ふかき
苔　園　堀　川　谿
わかれ　井桁　芳き　瀨
跡　路　細山　里　山家　居
磨　軒　庭　猶
垂　牆　園　枯艸
あらし　柊　楓　蔦
下もみぢ　檐　櫨　櫨
樹　樫　檜　梅

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

まれ　惜む 四　[illegible] 下　[illegible] 上
[illegible] 上　[illegible]　[illegible]　糸
[illegible]　[illegible]　枯生　[illegible]
[illegible]　[illegible]の梅
[illegible]合
日　月　風　[illegible]
時雨　[illegible]　明白　[illegible]
[illegible]　[illegible]　夕　夜
山路　[illegible]　枯野　池
窓　[illegible]　[illegible]　色

軒　端　[illegible]　[illegible]
仙人
[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
○霜
[illegible]　初[illegible]　[illegible]　[illegible]花
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible] 下　[illegible] 四　[illegible] 四　[illegible]
[illegible] 四　[illegible] 四　[illegible]　[illegible] 四

日 朝夕　月 暮　宮　風
嵐　木枯　よわり　雪
嘆き　曙　明星　朝
夕　宵　夜　山
畑　路　落葉　田
野 枯　橋 山路 板家　村里　屋 山門 村ひろ
山家 田　庵　庭　新
笹　濃芽　篠　芝
松 葉　杉　柳　老の家 もも
蓬　老とく　このくれて　みるる子

鶉　鵆　虫　蕎
鐘 嘆　鏡　鳶　菀
井戸　花　霰　阿
冬籠
發句
茶わるとそ　花となる　きそれしる
○枯野　冬野
かれ野　冬籠の庵　猫　那堂
冬をする　うつろふ　ふゆとす　かるる 下
その　ふるさとの
むしのる
あはれ　枯行る 下　枯行る 四　生 枯る 四

このは散　跡書 四　吹ちらし 十四　冬がれ陰る
冬がれ　白ら　さゆる 下　照
白河の下冷　花さく 四　世人の哀れ　嵐
清めるかたし　枯がはりする 十二　くちゆく　こほれ
影くさ　散そ　梢の家　冬、
新こげく色　松の嵐　まさめ 四　淋し 十四
讀　音色替　旅やる 四　見渡す 四
こゆる 下　見あ 上
讀合
日　月　風　嵐

時雨　霰　霜　昨日
今日　暮　曙　朝
夕　雪　夜　山
川　澤　庵　寺
草原　浅茅　落葉　館
篠　松　鷹　雉子
柞　虫　狩人　世守
斧の音
野はなれて　かけわたし　散のこる
○木枯　冬風

軒　窓　簀に　松

枝　梢　枯　榛

紅葉　落葉　木の葉　村雨

鶯　枝　離田表　[illegible]

發句

吹よるゝく　かつすゝしく　吉をさく

○寒樹　寒松

梢　霜にけしき　冬なれや　木の葉

冬こそ　冬なかな　こゝ山寺　木の葉

のこるかたる　四　霜しれ　冬ちう生　名

冬来てら　松　かはり　花

雲の原　松影よりり　くりくゑ　一本

冬枯の　冬の人も　葉　ちきの夜

くもり　下紅葉　名高　おしき枝を　四

嵐かもりし　下　名ふかし　雪ふる　四　おもおもふ　四

そひく　下　かれし　四　おそく　下　寒し　上

烈　風のよそり　嵐　風

ふく　霜しのく　四　鳴あらしを　つれなし　上

讀合

日　月　時雨　霜

雪　木枯　朝　夕
霜　夜　山　嵐
霰　風　路　山家
床　庭　軒　頃
苔　蔦　紅葉　梢　原
杉　檜　落葉　雀
鳥　琴　衣　袖
發語
かきくもり　風のまに[illegible]
寒草　冬草

くさ　冬かれ　霜の下　下
霜かれ[illegible]　下　冬[illegible]　冬の　霜　枯生
[illegible]　下　[illegible]　四　[illegible]　四　葉の原
[illegible]　葉　古乱　[illegible]
下[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　下
人目　夕　[illegible]　四　上四　花
[illegible]　四　[illegible]　[illegible]　篠
[illegible]　四　[illegible]　四　[illegible]　下　[illegible]　下
[illegible]　四　乱[illegible]　下　[illegible]　下　[illegible]　四
霜[illegible]　下　[illegible]　四　[illegible]　上四

まだ緑なる　わか葉茂み　古根　昔のこゝろ
こ枯れ　うら葉　くさ
讀合
日　月　嵐　嵐
時雨　名残　夕　霙
名　明日　今日　明日
山　叢　岡　野
原　里　路　川
澤　江　池　水
濱　岸　山家　舎

庭　園　墻　窓
軒　七種　春の秋の　萩　濱　扉
萱原　芝生　蓮　淺芽
芦　松　雉子　鷹
虫　獵人　猿
霧旅
むらさきも　枯えて　かれのこる
○寒蘆
芦　枯むら　芦のうら葉　花　こぼれたる　穂
浪のよする　かりたつ

むし立　一むしり　そこ　ひとよ
つさ　押して　絲ふ　君
聲　苔　流る四　そよく四
さへ絹く四　露　乱さて四　乱る中下
さへ川四　枯　葉　流されて
絹し　嵐てなく下　老枯葉し四　かれ
下ともしなく　根　うしつる　冬家
枯のこまし四　生てる下　枯たる四　風
さぬる下こすゝ四　おとつる中　かけ下　さ紫なし上
ふえ四　なぬかれ　跡る四　ゆき上

湫　難波人
讀合
月　嵐　水　泉
夢　霙　雪　鶴
夕　夜　沢　江入
池古　湖
湊　岐　川綿　渕
浦　坊　田家　庵
塩屋宮　軒　天刑　紅葉
嵯峨　千鳥毛　晴　野

こく四　とほ下　そよく四　うちやむ四
うきぬる下　かきねる四　むすぬる下　ふけるまし
乱す下　くるくる下　棹はなかれ　ふりし四
ころく四　くるく四　むくる四　ふむ四
とまれ四　寒し占　藤

讀合

日　月　風　嵐
雲　霞　雪　露
昨日　今日　曉　朝
昼　夕　宵　夜

山　岩　野　原
田　水　瀧　川 根瀬
江　沢　海　湖
井　橋　瀬　樋 掛
井積　網代　山家 田　庵
庭　垣　園　軒
窓　家　水州　芦
紅葉　落葉　鳴　鴨
鶯　衣　袖　袂
發端

浪こほる　とぢわたる　月もさえ行

○冬月　寒月　夕月

霜の月　さゆ来 霜よ　氷る夜 こほる夜　さえ／＼し 上

むすぶ月影　さゆる　影　照る 四

さゆ行 下　影うつり　白し　照る 四

てらす 四　さえくる 下　隈なし 上　桁あらし 八

さゆ雲 下　霜白 衣　所もある 四　木の葉くもらぬ

さえ／＼ 夜 そくる 四　さえわたる 四　新 空　あらし 四

さやけし 上　霜の 濃　嵐よさゆる 下　吹かれ 四

以つ雲 下　霜まもり 氷る　ふくる 四　かくれく 四

以外 四　おつる 中　散りぬる 下　かくる 下

疎宿 四　つらぬる 四　水まさる 四　宿のうへ

落葉　氷とぢて 四　木の葉まくる 四　氷田

寒くもなき　冬の夜　枕　霜夜もさゆる 下

雪に 嵐　霜まもる 四　ねざめし 上　尽きせず 上

夜ゆる 下　水と　木の葉ふかる 四　落葉 夜

枕 氷　よすがら　さ　さえかへる

宿の板原　かく来る　板間もる 四

讀合

空　風　嵐　木枯

雲　時雨　嵐　霞
雪　曉　霄　夜
山　峯　麓　谷
岡　野　原　田
杜　林　海　川
江　沢　池　瀧
橋　山家 四　庵　関
戸　窓　軒　庭
園　垣ね　浅茅　蓬
里　枝　竹　落葉

千鳥　鷗　舟 柴　筏
網代　渡し　衣
發擣く
さゝ浪る　空と水際　夕しほ
○衣
衣手　袖と　むしろ　しき
うつゝかさねる　唐衣も　すゞしく　重ね
あさの衣　紅の　ゆふけ　墨染
苔ごろも　夕すゞや　夜　衣の袖
おもひ子　ぬれる 下　川　うらぶる 四

かゝれし 四　斤　香る 上　ゑゝ給
うつせし 下　なし 四　さしも 四　扇
吉　外もし 四　外わする 中　妙数 上三
い　いなりし　あらしの　あらし吹る 下
忘れし 四　空さ上 白浪　龍山　ふもと
秋さゆく　花の　さゆる 下　花さ
さゆる夜　象は　さ成て放く行 四　打てる 四
手折る 四　霞さ忘る 下　忘る 下　長なる
落し 上四　陰の他　忘し 上四　葉笛 など
松のこそかゝ下　夢中　袖 ゑて　風

板戸の かやかる　透き戸の
讀合
空月　嵐　山嵐　木枯
象　霙　霰　雪
氷　曉　夜　春
山家　閨　軒　窓
千鳥　千鳥　鋪　霙
枕　老　衾　樓
妹　妻　衣　裾
袖　待

發句
軒ちかく　打よする　出しほさしくる
○千鳥
白き雲　浦伝　夕霧
夕されば　友よぶ　猶かく　ありて
友なし　なく聲　ことさら　のこる
聲　啼渡　いそぎて　遠き夜　ねざめ
こえて　四　鳴　四　夫れは　かよふ　八千代
千鳥　よこぎる　夕ぐれて　五つの　ありて
清　川千鳥　川浦　名よ　塩干　かる　上
住む　四　芦辺　四　なれ　五居

みなれ　うき　行　四　とれ
おもひ　四　かよふ　四　まづ　中　渡る　四
鳴と　むすぶ　下　許　むれゐる　上
ゆく　四　飛鳥かし　上　五居　まつ　四
よる　四　遠ざかる　四　近し　上　当　夕
多く　千鳥　遠く　上　かや
寄る　五　ちよと　行く　四　ちる
あさなる　四　まぶ　四　夜　寒　よばふ　四
啼鳴　なきさわぐ　夕　つまよぶ　四
浦　渚　浦めぐる　四　異　よるべ

こゝの乃 中　おのへのとら　こゝへ 四　むと 書
書くなる 中　夜すがら 四　さゝふ たく露 四　宿此
かゝも宿なる　つきさ　ここ 夫妻の 下　羽
照るにも 下　とまる　訴さま宿　露つくるる 上
うつり 月　沖の宿り　月乃　うつりつむ 四
讀合
月 古覧　空　雲　芳
風　時為　氣　霧
更　曽　曉　曙
朝　夕　宵　夜

関　川 隈　湄　洲
汐　池　江 入　汀
海　浦　峽 山　濱
湊　沖　潟　嶋
洋　浪　荒礒　岩
故 干潟　塩竈　苫屋　樹
雲　芦　船　友
妹　舊　蓑　渡守
塩竈　堤
發揮

千世ふくと　浦なれて　行之架
○水鳥　鷺　鴨
みとりも　うかへる　よる　かもめ
あさなさな　さきさわく　ゆふしほ　雁
くろ鳥　をし　来なれ　羽ぬる
みやこ 鳥の　沖つ 鳥のうも　波のむれる　うきとり たちとり
群より　鴨　ありし　まあし
芦辺の ひとつなる　うく羽　小 そ飛　
むら飛　翅　若鷺　鳴
はるき　羽以よ　若むらふ四　来

上毛　うつく　毛衣　羽
羽風　おのつの　鳴四　聲
そよく ひとつ　翼　若　なく
はなし　をそく四　むれる下　ひとゆく
うき　世並寄る上　立四　翔四
も　あらかひ　翅くつれ　つらね
つれて女　むすふ四　素れし上　あまゆふ四
うく四　うかふ四　うかむ四　流れし四
遊ぶ四　くろる四　もそ　通路
下り　下る　かはく四　浮寝

ゑどり とも 一　浪のうき絵 さよ　つらての松
水 一　玉もかり菜　つらゝ　秋しくる 中
水茎の岡　舍 一　水との　棠
うき巣　すゞめ 三　手うし　藻
みを　下やりとう女　わかる 中　あさ川 四
蜘手 四　宮し 三　嬉　岸洋 四
むれ　ゆし 四　まろ 三　行ぬる 四
立　浦つたふ 四　汀　ひとり
やす　かゝり芦間　芝流かくれ
讀合

月　風　時雨　霰
霞　雪　氷　曉
曙　朝　夕　夜
海　沖　浦　磯
濱　湊　湖　河
江 入　池　汀　浪
岩根　岸　巖　草
蘇 上　藻 玉　紅葉　落葉
舟　筏　渡　黄
友

發端

うかれてのこ立されて　むれしめこゑ

同　飛鴈

竜とつらね　うかれ出する　岩ヶ瀬に

同　鴨

ちらばりて　おもしく原　那ず来人

同　鴈

江こと磯と　吹ヶ様に　あえく原

○残雁　寒鴈

冬く来をと以来

まゆのうちを　おこりて下　つかれ　秋に

まゝ来に上三　さぶく四　若き　寸

渚よせ四　みね　おつ原中　翔る四

ふじ四　みね　むすて下　流しえて四

居並上二　粮さむ四　れにぶ原四　鳴四

発　つたて　こふる中　さゆる下

飛ぎる四　寒し上四　紗　友がし上四

啼渡く四

讀合

空　時雨　霜　雪

山　秋　神無月　山
岑　田刈冬　柴山下　常盤
居　寒艸　霜雪　玉章
そまつ
巌ほ
泉かふく　おもれくる　おりしく小
網代
おりへ　床も　守ある四　さかねつ
網代　瀬の網代　川瀬寄せ　水の床
まて　つ四　命奥　床　寝し上四
をちの篝

おちつく下　かゝる四　寄る四　うぢ川四
ゆらく四　うかふ四　よする四　よどむ下
みだれ四　こゆる下　おつる中　流る四
ゑらぶ中　さゆる下　数　朽る上三
守　ちかはし四　朽る下　安かり四
守ある下　こくず川　月ふる下　さほ川
結ぶ　寄し上四　瀧　何はも
まつ　瀬　吉野川　よるべ
嵐　問　川よ　猶奥
八十瀬　浅まる　瀬との　かくれ
田川のわたる

光　新　まりの　ちくふる 四
浪　よる いさよふ　さらすもくる　ながるる 上三
くだけ 四　おりの音　光を見よ　くるぎ
罪の世業　世にふる　またこの　木の葉
ちりくるむ 四　見え
讀合
月　月 新　風 山　嵐
山下風 次　木枯　時雨　霰
霰　雪　氷 寒　曉
鳥　夕　宵　夜

山　河　島 守　浪 白
庭　行かう　軒梳 大　苫　芦
原 玉　紅葉　松　千鳥
路　水鳥　花　船
篁　花　衣　袖
發語
波おきん　ますみ　每に　うちあそぶ
○霰
ふりくる 道　結ぶ 玉　さうす　霰の玉
ちりしく 玉　玉しく 四　降くる 上三　度

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

空 月 山 曉
影 夕 夜 枕
路 夜毎 池の影 新
垣 窓 庵 板庇
板屋 篠竹 杉の葉 荒野 紅葉 楢
杉 山本 苫 竹
松 村雨 玉 篠
うき雲 露霜 夏 秋さむ
消かへり 埋火
霰結

かつら川 乱れある おもはぬ方

○霙

こぼれ ふり来る 上三 四 雪ぞ降 下 空
寒く冷わたる 四 こほり逢の夜 あらし吹 四 峰 四
かたくなる 上三 おきあしも女 冷たし 降まじりける 四
降交りたる 雨まじり来 横ぎる谷 四 さゆる 下
寒し 上四 重ね 冷 消えしも 上四
白河 冬枯 寒き 下
くもる 四 きえがてに 四 夜寒にまさる 下 時の間
積るも厭し 上四 ぬれ 冴ぬるに 板屋寒し 上四

殘
空　雲　時雨　霰
風　嵐　曉　朝
夕　夜　山　岡
野　里　落　庭
庵　野寺　寒夜　落葉
松　夢　笠　衣
炭竈　埋火
發句
霜消えて　深山ふかしや　空さえて

○雪
ゆきげ　きえ　あらぬ　梅の
あらし　はらふ　ちれ　友の
まだふる　雪あるゝ　年
白妙の　雪解の水　雪氣の空　雪の朝
雪の下折　紫　雪なる
夕ぐれ　うつろふ　夕霞　たてり
行くれ家　あらしけれ　ふるゆき　ふるゆき
日数　戸たて　木すゑ　嶺の
まち　戸さし　うけれ　山
ちり　あし　しらむ　をちこち
若菜　み山　さえゆく　冬の
野守　しまし　をさゝ　岡
枕　花　花の　花園
人　見　下
待　四　夢　四　夜すがら　十三　ねふ　四

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647　ガラス使用

枕り　をとつ日　明日　けふ
あやめ　卯の花　花の露
讀合
空　月　雲
風　嵐　晴
朝　夕　夜　歳暮
豊年　山　世　海
河　湖　杜　路
関　社　寺　古郷
店　庭　園　窓

壇　因幡山　字州　櫻花
雲　椿　梢　反葉
竹　藤　駒　態
猿　千鳥　水鳥　墓
笠　鐘　簾　舟
車　紫　衣　絹　藤
獣精
箏語
停止て也留　光つけしか　竹のよしみ地　身の程下
野もやまも

○初雪

○深雪

○鷹狩　狩場

塵らひ　法　かり人　鶯
おりゐ　草まくら　いぬむる下　しほ
せむ　遠目　見え　こゝろかよふ四
すゝる下　手まひき　ひとりね　夜
かよはする下　はなれ川四　そゝぐ四　とをろび
おちる　あさ茶四　身あかる下　かよはる四
たわらぬる下　行ひあたる　供餌する四　ひとりね
嘆く　手なぐさみ四　神すゝる四　山口開く
續歌
月　夕　朝　月　霞　宴

雪　嵐　曉　朝
夕　雲　夜　山
邪　園　江　宮殿
寒梅　松　篠　雛子
雁　鷺　小島　駒
邪まらの鏡　弓　矢　笠
墓　行年　野寺
發句
手向する次　宣おとる　宣うきく
○炭竈

もえくゐ　峰の炭竈　松
炭竈の煙　里　里枝　さらく
よふすゝけ鍋　ふくむ　炭竈　すゝやき衣
すゝやく里　山こほる　業しり　薪
山をりかる 四　のしふ 四　のせる 四　くゝり 四
炭の小車　炭うり市　嫁　横山ずみ
まさ木　炭山木　丸木　出る 四
あつむ 四　たく かる 四　雪の下もえ　薪とりやく 四
まゐし 四　やく 四　たきそふ 四　そふる 下
煙　かふる 四　煙る川 四　たつる 下

くゆる 中　なびく 四　一節　みゝ
埋おくる 四　うかむ 四　煙る女　疎し 上四
出しあかり　細く うまき　五の村　雪ころかる 四
木の間より　雪ふ立そふ 四　口あくる 下　なりそむ
ことさと新ふ 四　寒し 上四　少 多　遠
勝 枝　美斗 上三　こゆる 下
打渡る 四　足　旅ふ 四　谷の村原
続合
月　雲　霙　霰
雪　風　朝　夕

山峡　谷　里　路
都　布　仙居　蓬莱
林　山姥　杣男　里人 山
鶯語
左の松葉　折々ちるく　山ふところ

○埋火　炉火

うつみ火　おき　火桶　桐
すみびつ　埋火のもと　うけ翁　炭
榾　ほとゝ　さしおく火 四　柴
榾とりくべる 下 四　花　うれしく 上 四　おこしけ 四

なき
うき　消ける 下　きえのこる 四　以 四
残りめし 声　落ちかゝる 下　うつむ 四　うつさる 下
うつしおく 四　赤くなる 下　おこりゆる 下　灰の下
ふるき　灰もち　家の灰　留
冬ごもり 四　火をさむる 下　手をあぶる　かくり
埋み火 四　消えぬ　消えぬ 四　ちりつく 四
炭をつぎ 四　かくる 四　くらし心地 四　うくれ 四
夜とともの 四　寝覚の友　さうつ　うつく拾
起あかして 四　落る 上　こゝろ安　寒さ冴る 下
むつかり　寒さと凌く 四　冬しらぬ　家なく

みてぐら　しらゆふして　まさき　手くれ

さかきその　榊　幣　杖

笹　弓　剣　鉾

杓　葛　ものゝふ人　はや代 しめのうち

[illegible]め　くさなぎ　とのゐさ　とまつたか

[illegible]　宮井の座　大前 神楽　大殿ぞ

[illegible]し 上　庭火たく 四　庭火の燎　新 [illegible]

ほうき　袖ふり　[illegible]し 上　[illegible]

うたひとり　ひるくれ　山あゐの袖　袖の追風

[illegible]　あそびの琴　笛　篳篥

ふえの音　手拍の鈴　琴笛の声　うたふ 四

[illegible]　ほし　そのこま さうのこゑ　この神

[illegible]　あかほし　あつき 本末　鳥かへる 四

[illegible]　[illegible]　[illegible] 下　[illegible]

[illegible] 四　[illegible] 四　西あし 上　[illegible]

かつらをかさる 下　さゆる 下　さるさし 上　[illegible]

[illegible]　[illegible] 四　[illegible] 下　夜

[illegible]　よもすがら　さよ 更　ふくる 下

明けゆく　おし　[illegible] 四　曙

讃合

月　霜　霰　雪
風　真砂　杜　漣
[illegible]
さ夜更て　榊とる　早まちて
○豊明節會
とよのあかり　あそびして 四　袖ゆ　おもかげ
天川　五節舞 四　袖ふれし　その羽
拍れふる 四　袖　山藍の五節　霞の
袖ふりはへる 下　かざし 四　千世の　かざしの玉
たえずの赤紐　姿　をとめの五節　華の

冬の夜　うけさし うちむち　雲井の庭　民をおさむる 下
玉の緒くし 四　豊新しき　ゆふされる　さしき
あらたまる 上　日かげのかづら　よそのかざし 上　大宮人
[illegible]
日　月　風　雲
名白　出　光年　明日
今日　明日　夜　都人
鶏　玉　扇　君
民　酒　神
發語

小豆の粥　花ともみたる　粥杖ノ

○佛名

仏のこゑ　無の行ひ　法名の数く　宵のりすゝる 十三

仏事の光　かねひゞく 四　つくとも　罪

つくれる罪の　あさまつる　さかしつる 下　ほめよと仏にまゐる

三千仏を　ころかつく 四　朝と浄る 下　又行 四

行のうちもこひ　まことの酒　たく人の間　よくよく

さちぎき　名ふるまひる 下　御ぶし　山

枝の節 一　無の　三の節　あきの夜

名のもん

寄合

月　月　名　名

雪　燈　千年　夜

暁　春雲く　橋　鶏

鐘　置　あの　昇

老人 然　吾　錫

○早梅

冬の梅　冬籠　花

冬のうめ　みそれ　初ひな

忍ふうちに出る 下　さくや　咲初ゐる 下　濃き梅 四

物思ふかな 四　うち　さく 四　とり

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647

ガラス使用

匂ふ 四　白ふ 四　かうばしき 香
薫る 四　立のぼる　[illegible] 年のはじめ
うつる　[illegible]　香ぞする 四　開る 四
香のうち　[illegible]　昧々 [illegible]　来る 四
[illegible] 四　[illegible] 上　[illegible] 露 [illegible]
國　春にさき 四　[illegible]
[illegible]　新花 [illegible]　[illegible] 四　冬こもり
[illegible]　冬ぞさかり　[illegible] 上　[illegible]
[illegible] 四　[illegible] 上　[illegible] 四　[illegible]
[illegible]　[illegible]

讀合
白　月　風　嵐
梅　水　南　朝
冬　夜　早春　古今
山家　扁　窓　軒端
庭　園　垣根　[illegible]
籬　鶯　雛　[illegible]
室
發句
年のうち　冬のうち　待人女

○歳暮　送年　惜年

雪 風 灯 暁
夕 夜 世 門
瀬 海 浦 浪
窓 紫の戸 門 濤
都 市 大路 橋
松 門 鶏 鶯 声
臥 待 主人 山
老 法 仏 神
浮連 幣
発語

春くゆく はやとね もしかとくる
○待春
さる泪なりし四 すずをも下 まつのいろき とみり
いそうし 上四 心待ちにすも下 なりし 上四 引
一夜 あき 花の雨り 霞いそく四
年の内 もるる きあかん四 門まそる下
まづ 咲く梅
誘合
宇津の 鶯くらは まくらきむへし
発語

年くれや　いつはりくら　春くと文

○閏十二月

春ゟ八さ成る四　後のしるし　日数ふるふ四　くるる

としのあまり　春ならしむ　雪しまかく

讀合

歳暮にはすれ物ちかきとし守へし

發句

なすりあ梁　くりくと文　ゆしなら文

○除夜

くふり行年　二ふしすきり　くふ　今日暮るる下

くふさと越るく四　くれり　よふくみのこ　ならぬ年

まへりの年　よまる夜　よりくすきる四　まちかり

ふよふりゆり　のきるもとし　明るよう春　あたの春候四

ものさうひ　としの　春ゆるし　くれし上四

後しぬ四　そしも行き四　あすの家　今日人の春る上三

おかし出　出て待る四　光く待る上三　門松たつる下

まるむ　夜半　よしくく　さよまる

ふく候下　あく暮下　おやら不寝り　祝の春

花の兵　鬼　挨

讀合

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』　請求記号 特1-2647　ガラス使用

冬圖一

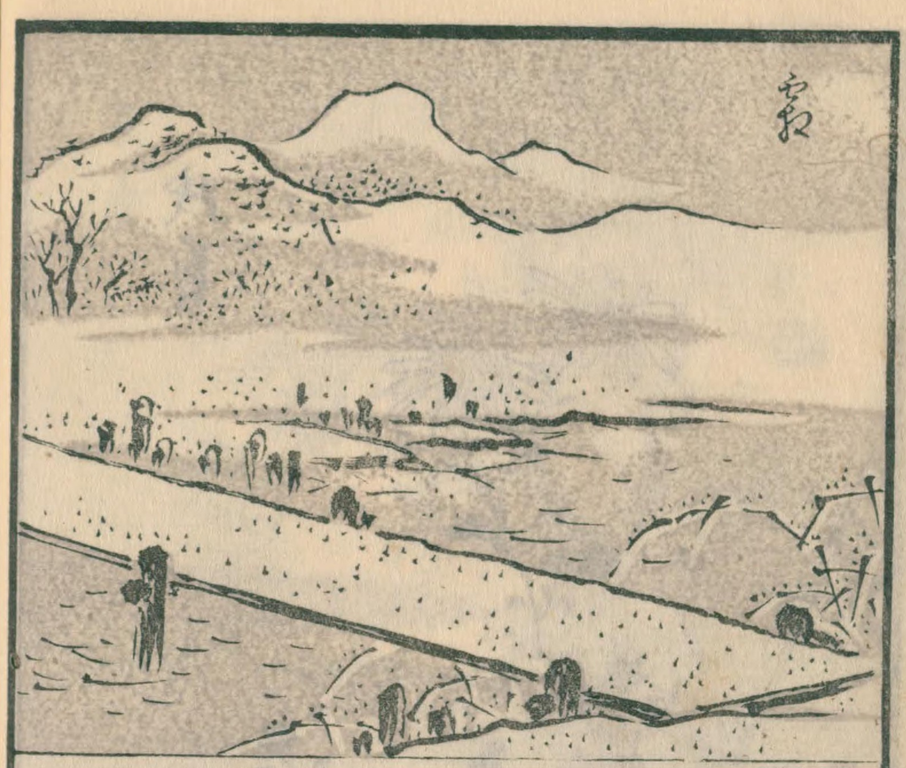
歳暮のぶアりまて來るとしなし

發語

今日の冬と しはすつ雪 かきとりな

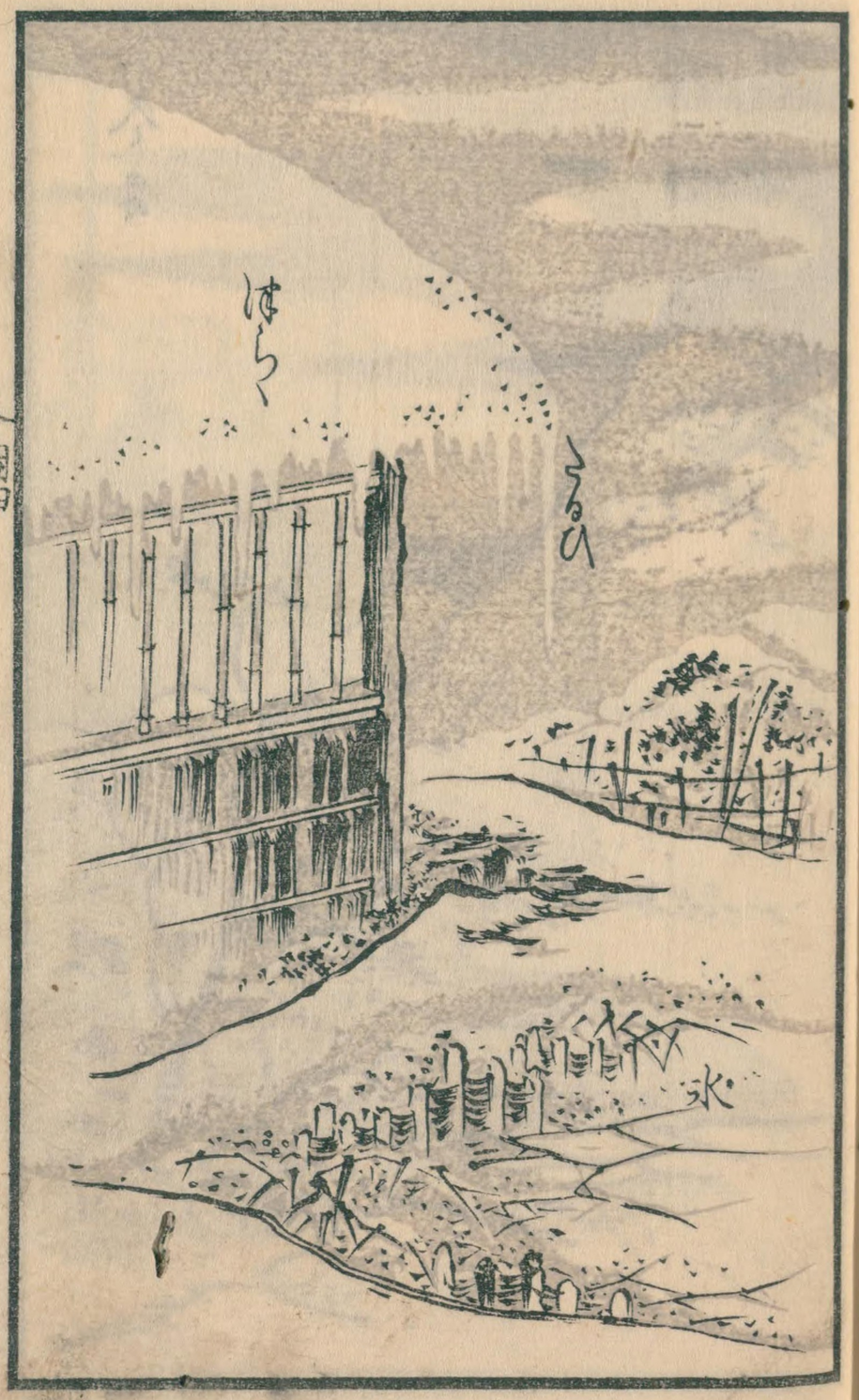
国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

木拈

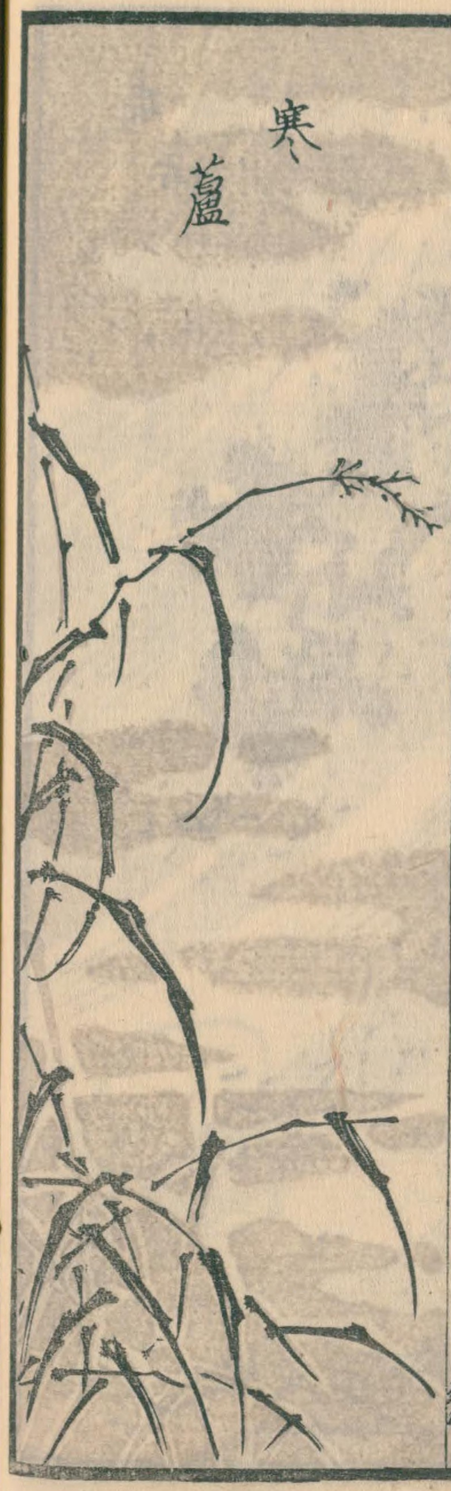


寒

拈腎

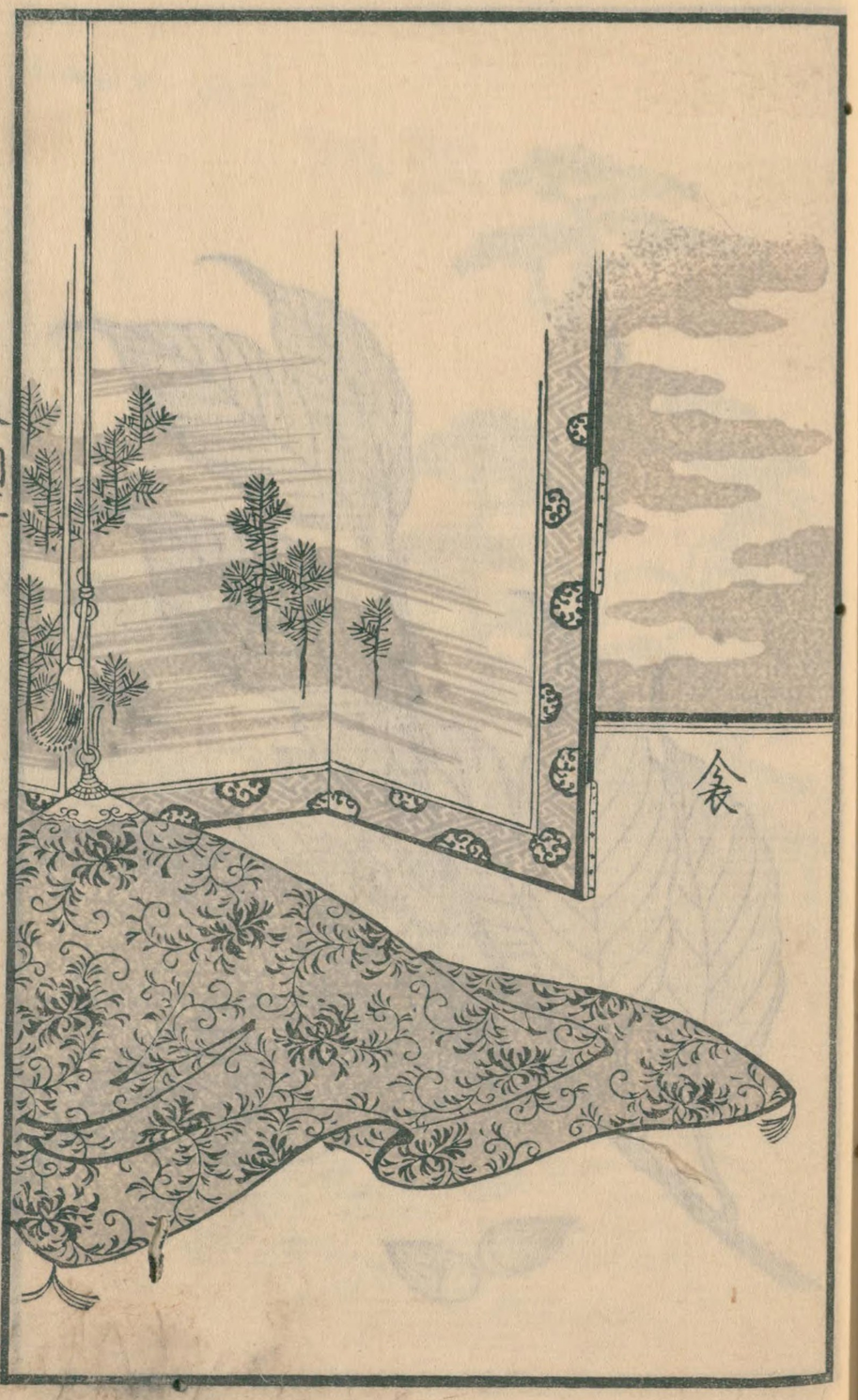


寒蘆



寒樹

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

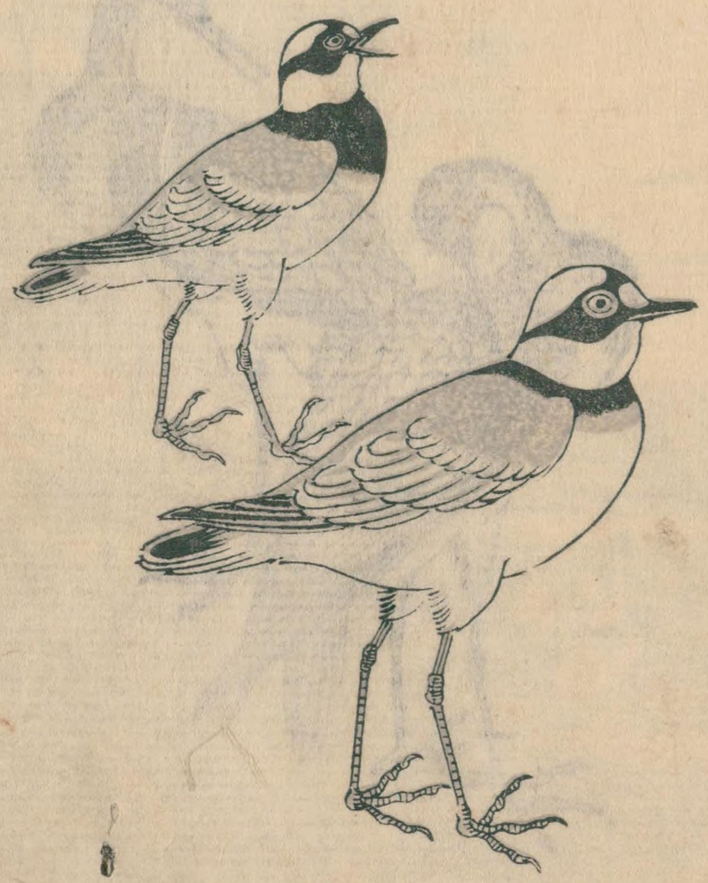


冬圖五

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

冬圖六

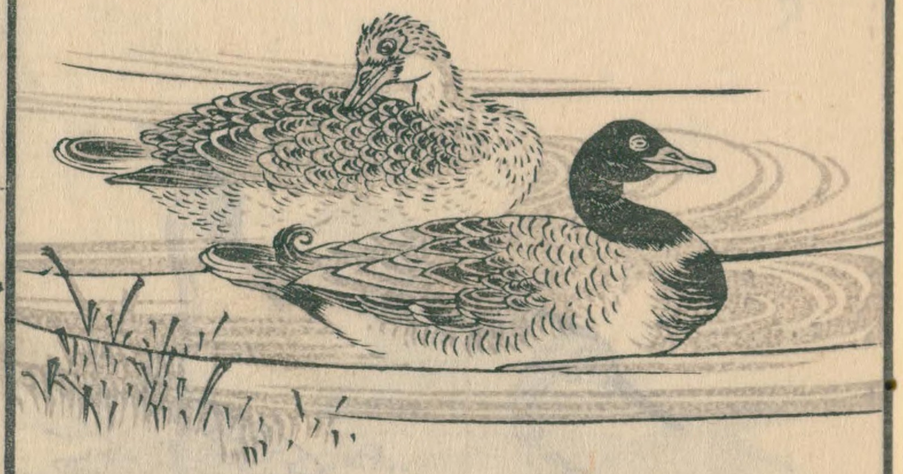
国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647　ガラス使用

鴨



みか

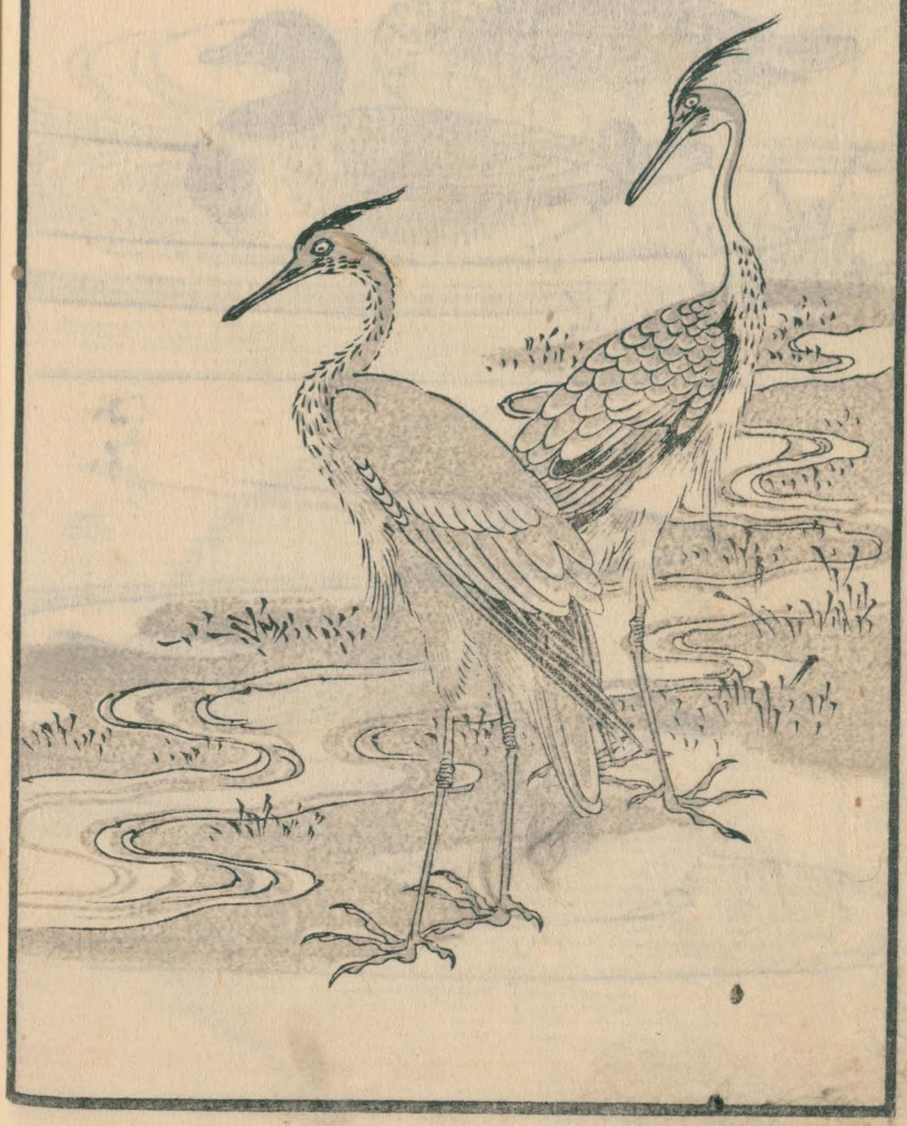
鴛鴦

つるき羽

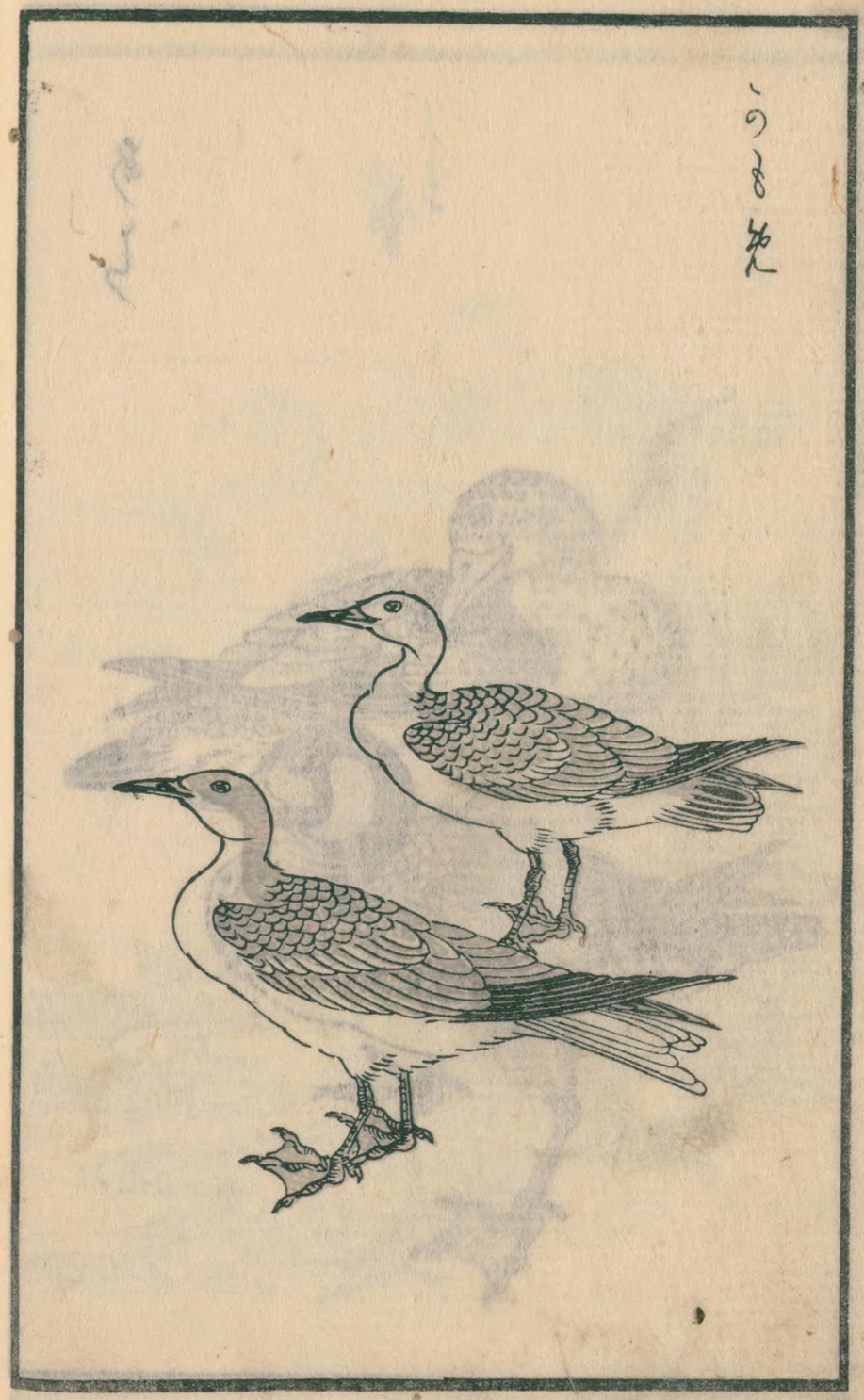
国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647

ガラス使用

あら



国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647　ガラス使用



冬圖十一

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647

ガラス使用

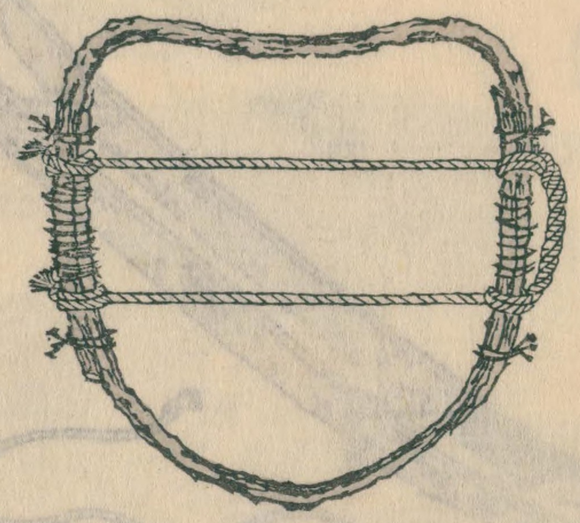
冬圖十二

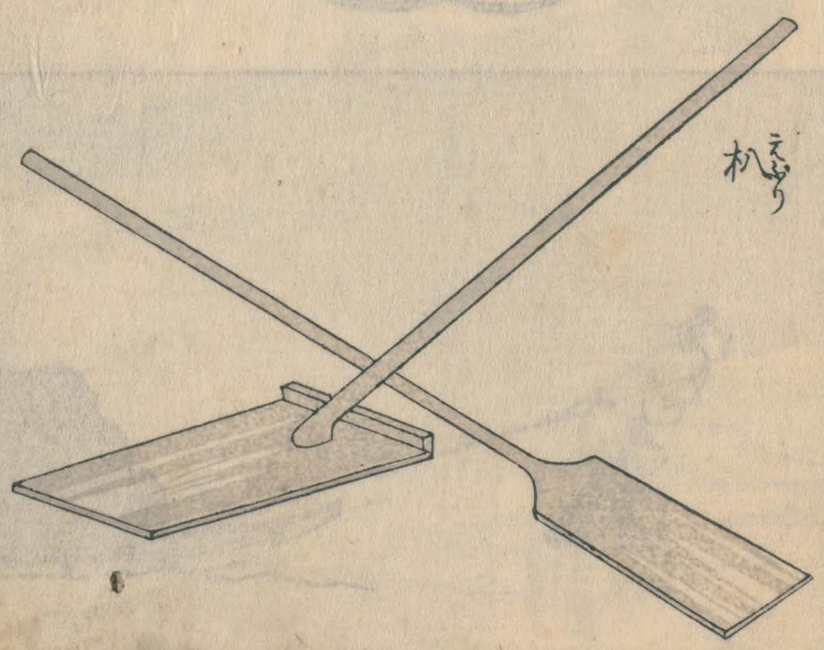
国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

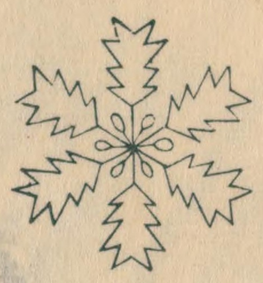
冬圖十三

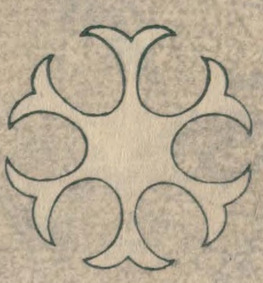
国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

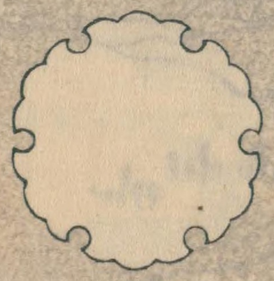
かんじき







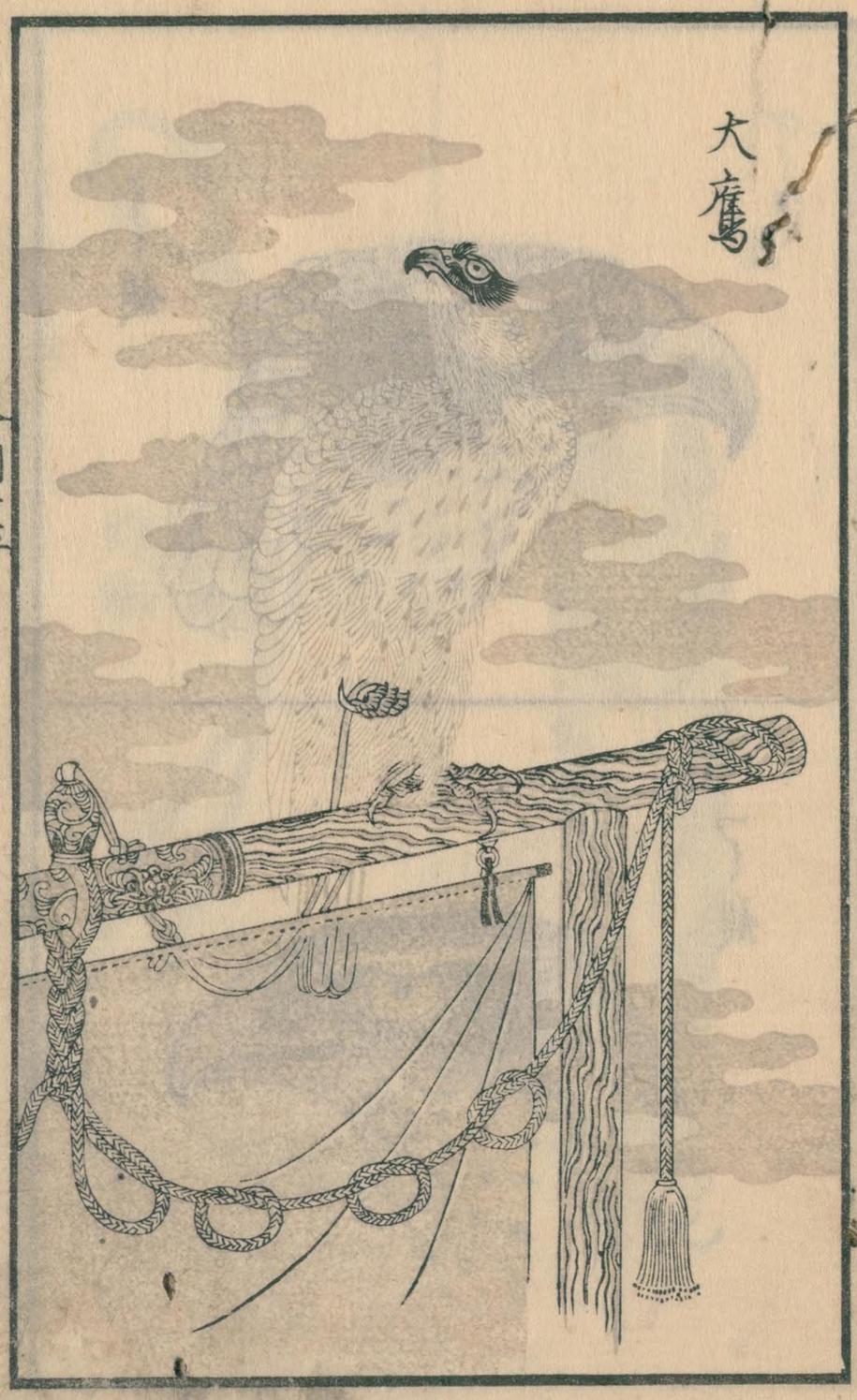


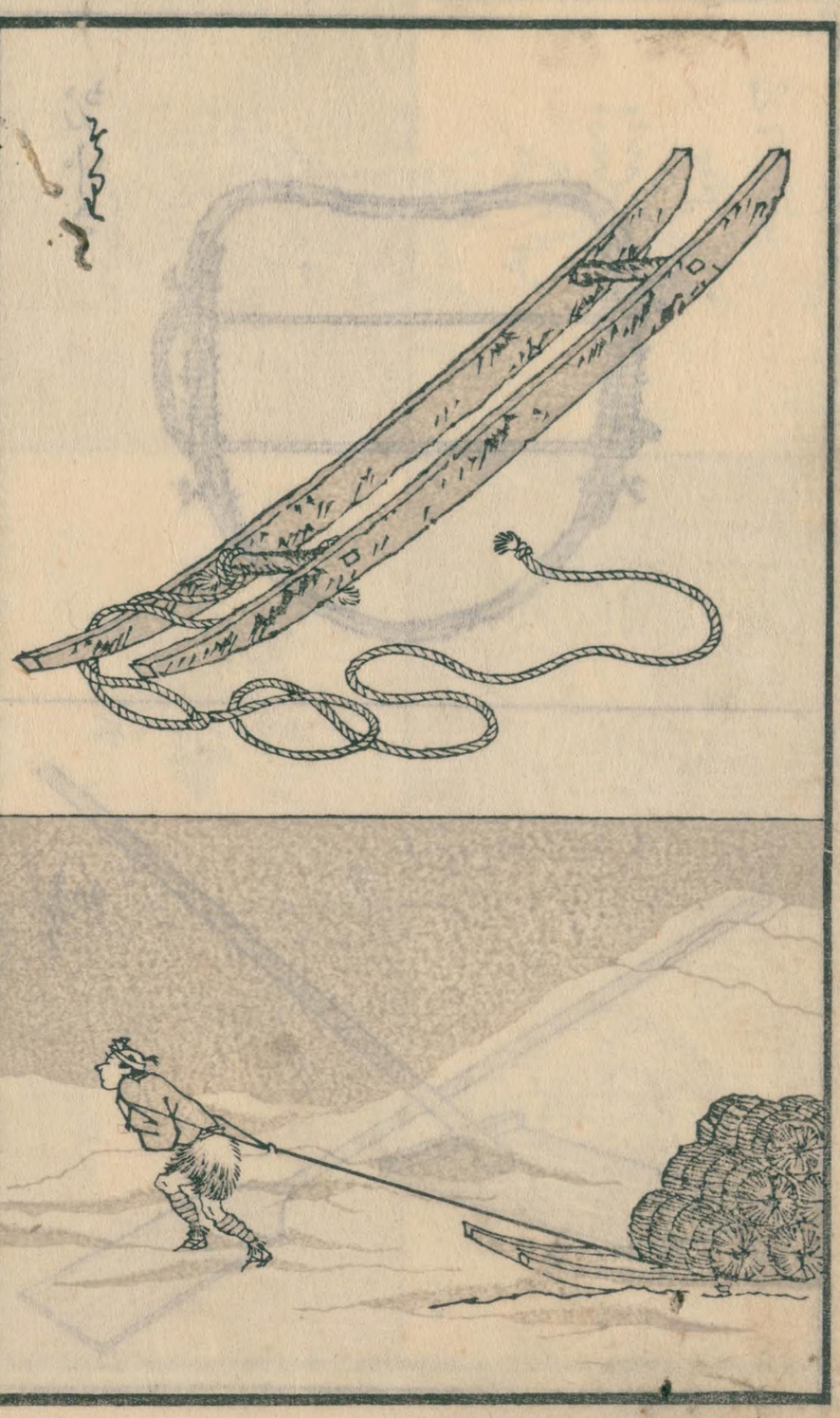


国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647

ガラス使用

大鷹



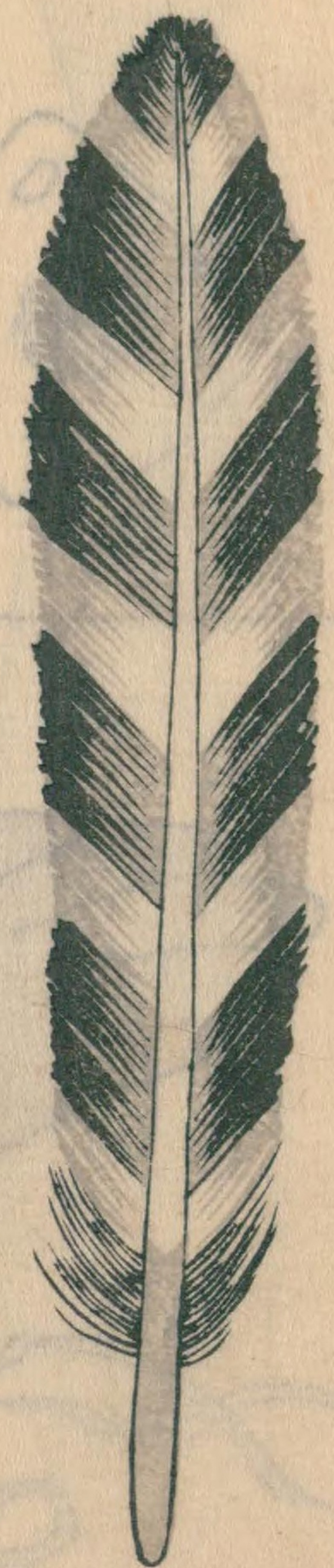


国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

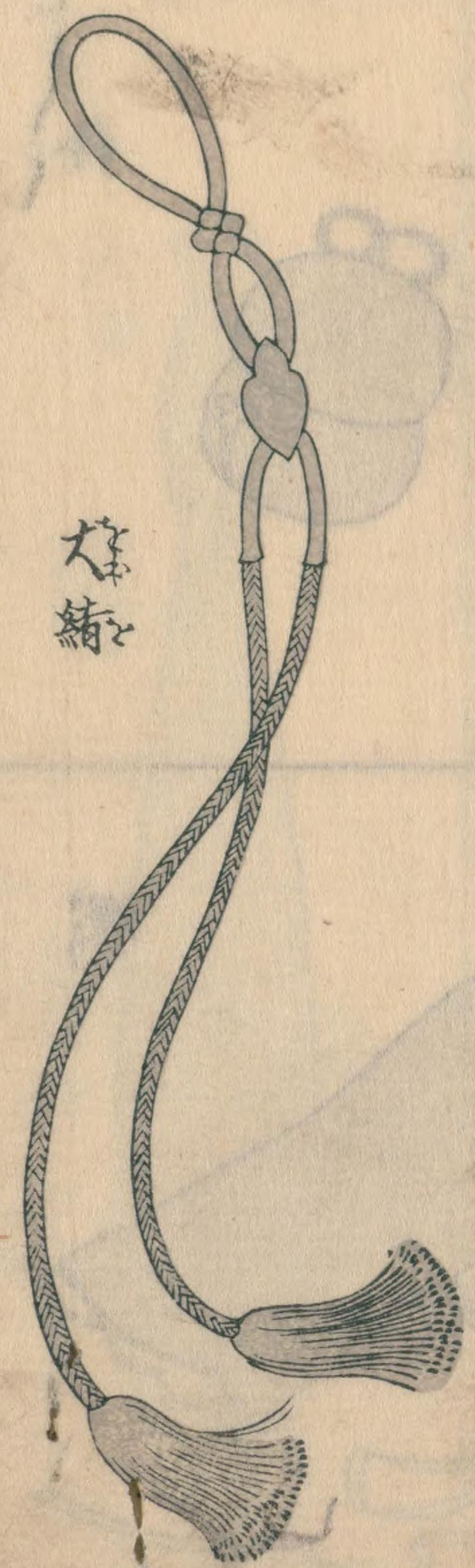
をし顔

つゝ顔

やう尾

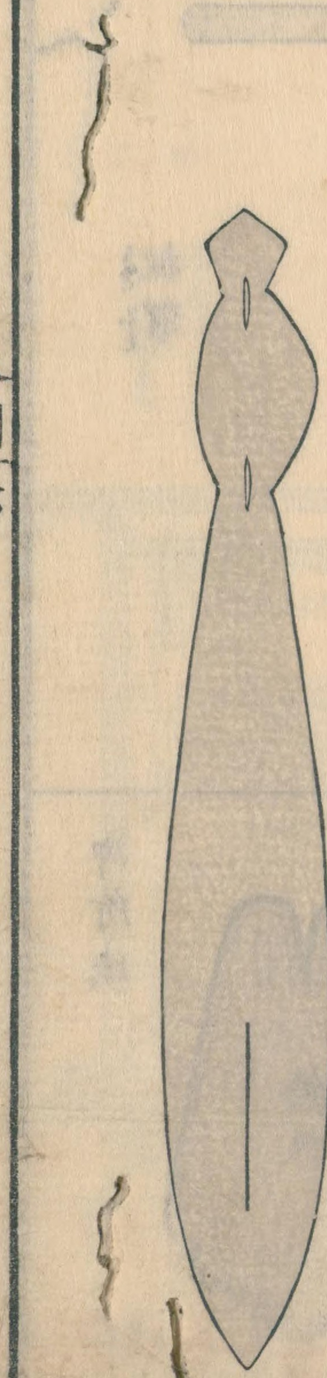


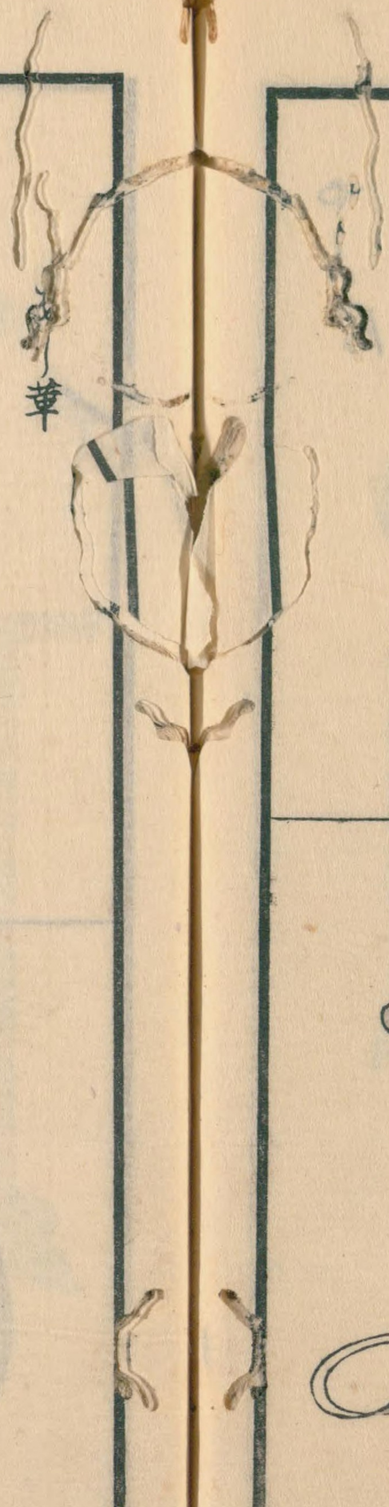
大緒

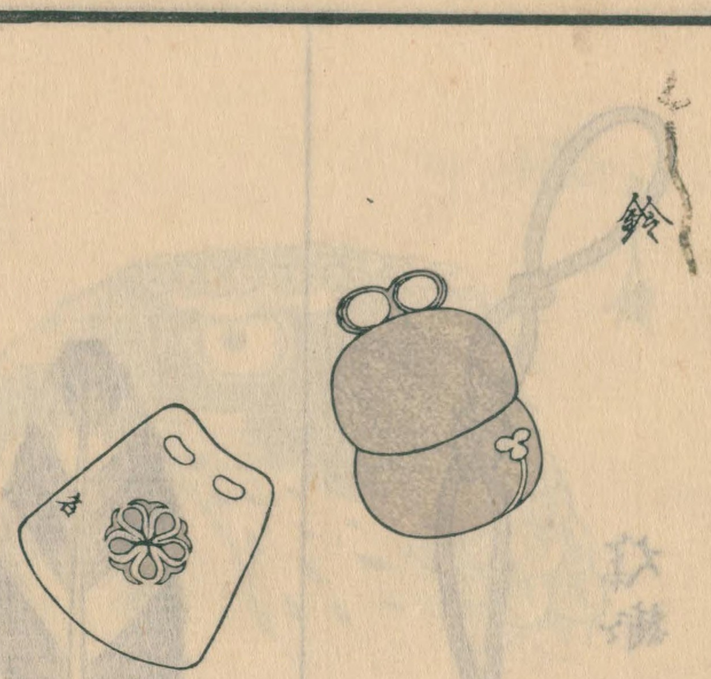


国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647　ガラス使用

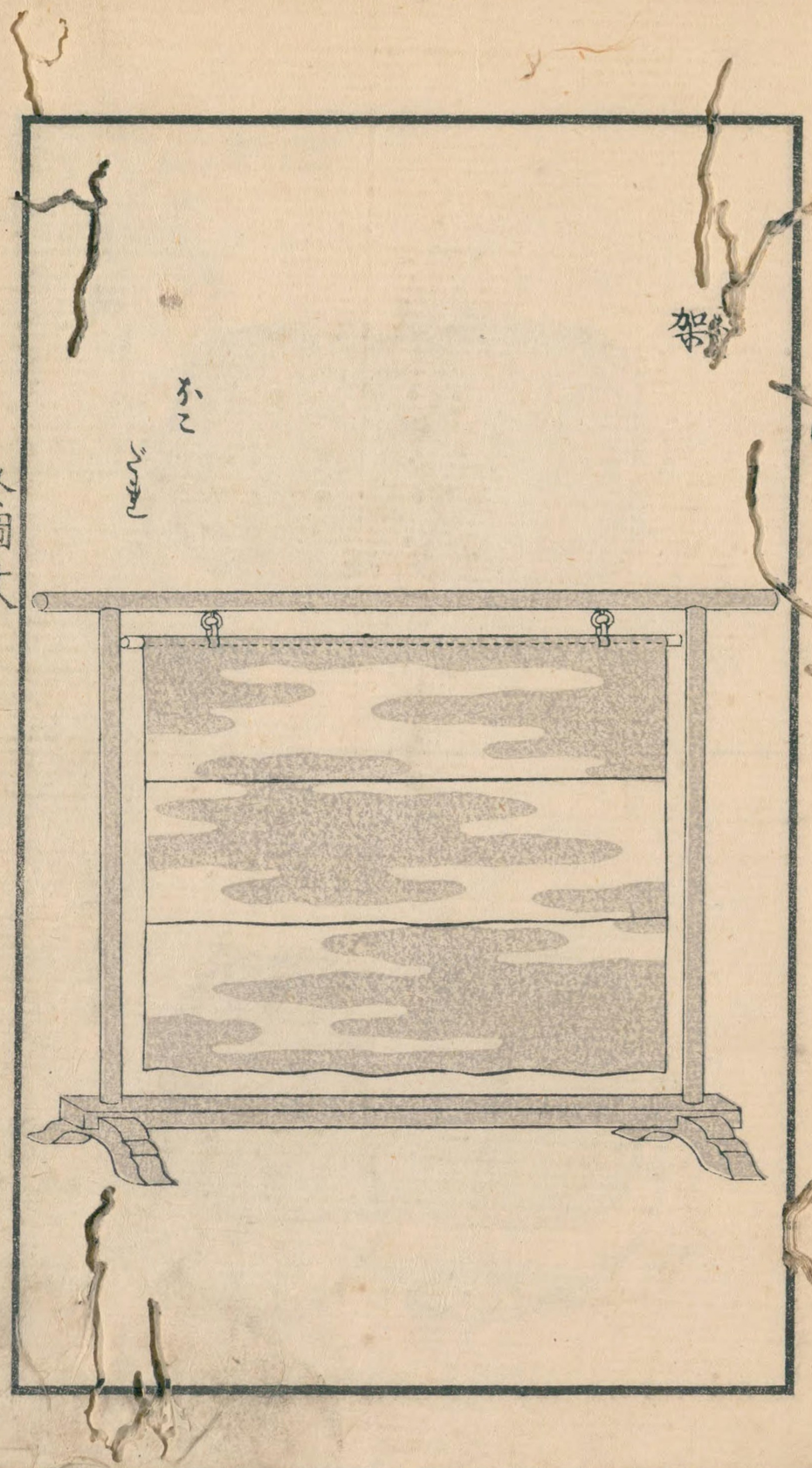
冬圖十七





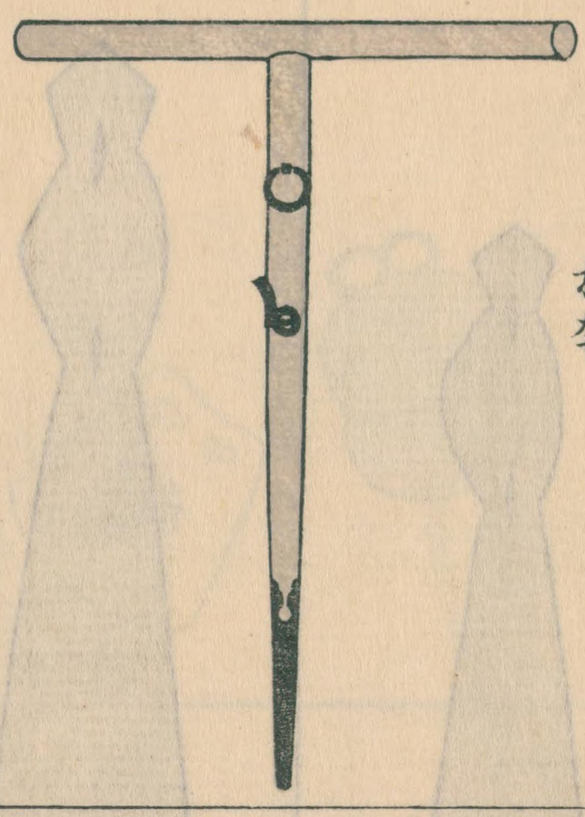


国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

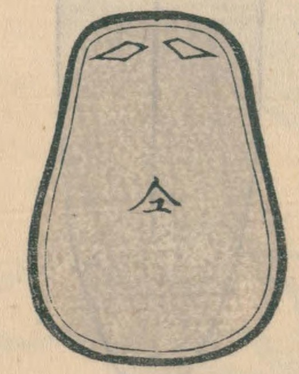


かご

架



杖架



全

東國形

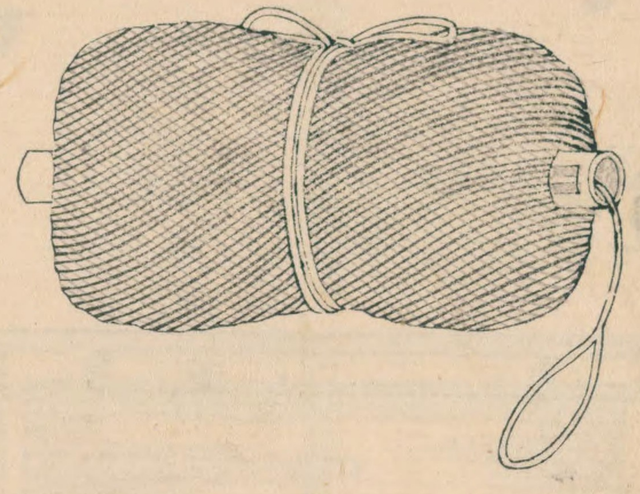
鈴板

御所城

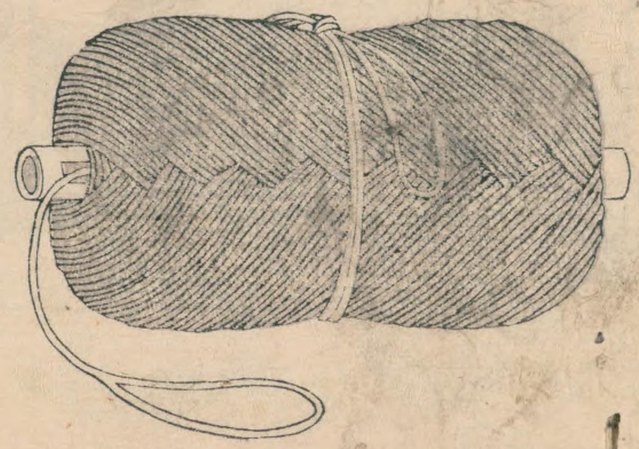
国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647

ガラス使用

冬圖十九



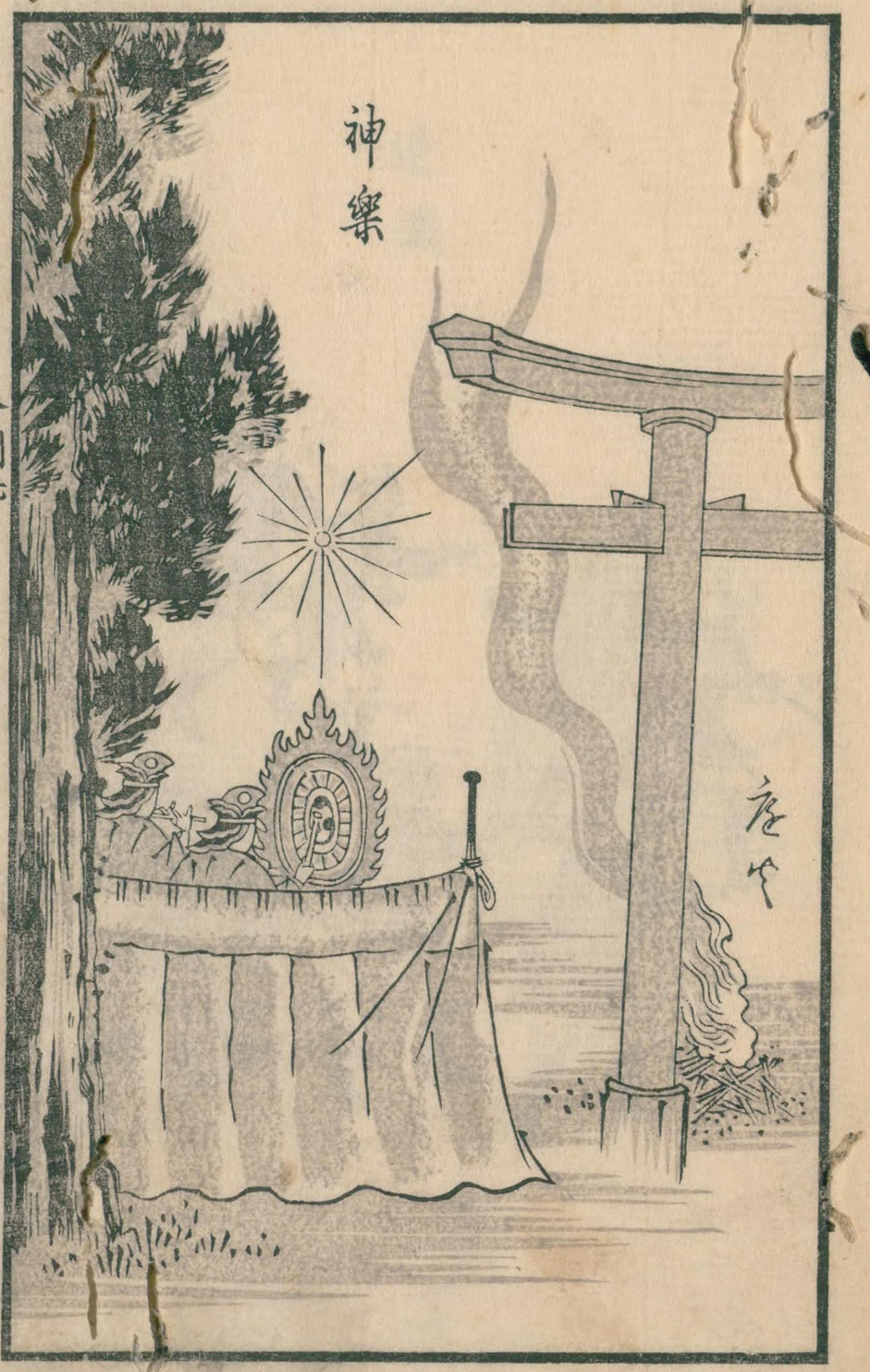
置繩

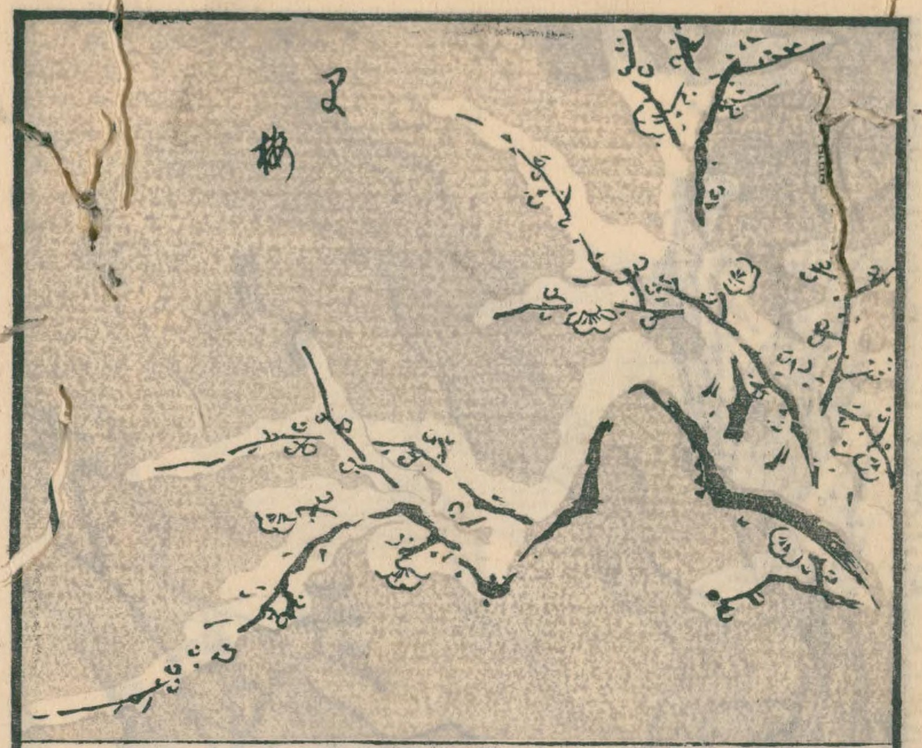


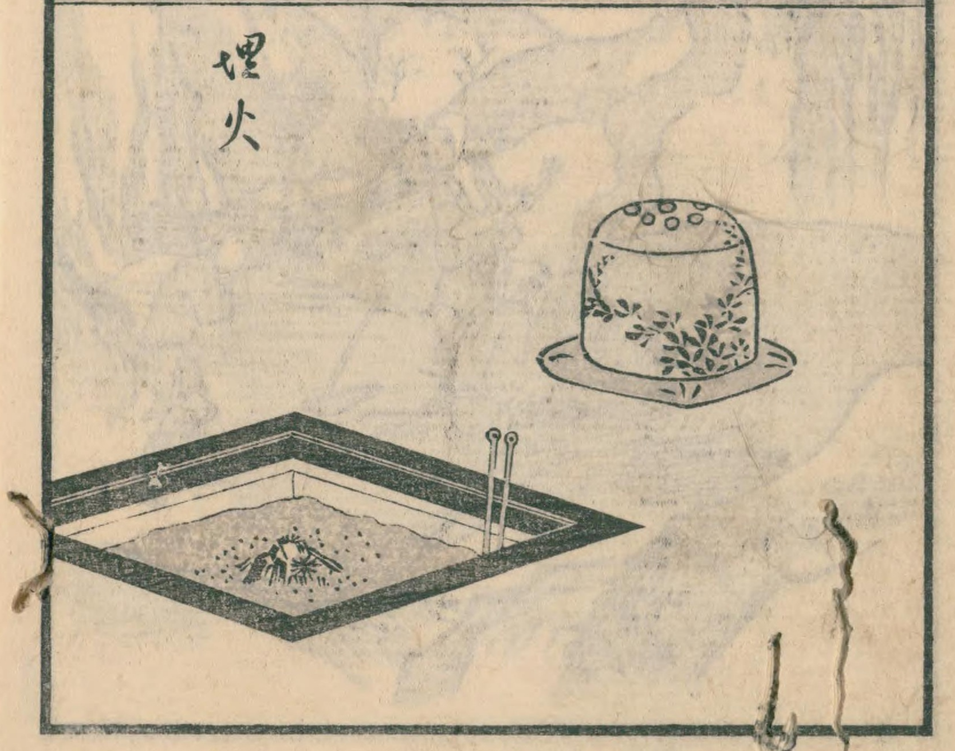
繩

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647
ガラス使用

神樂







埋火

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647

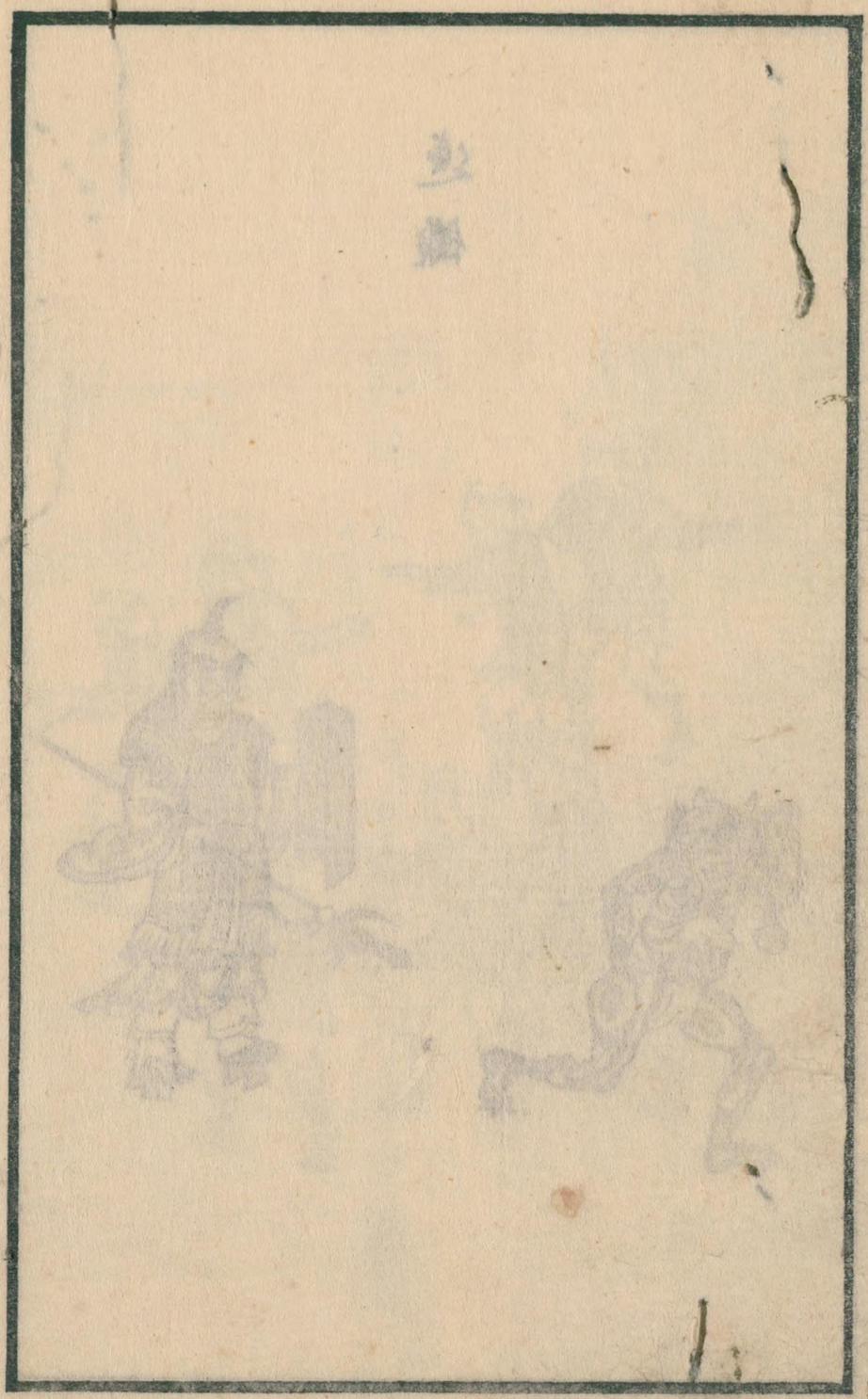
ガラス使用

追儺

国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647

ガラス使用

特 1
2647



国立国会図書館　タイトル『詞の大綱 5巻』 請求記号 特1-2647

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『詞の大綱 5巻』　請求記号 特1-2647

ガラス使用